

## 教育委員意見交換会

日時 令和4年3月25日(金) 午後1時30分～午後4時00分

場所 堺市総合福祉会館5階 第3研修室A・B

出席者 日渡教育長、河盛委員、宮本委員、鈴木委員、新谷委員、長田委員  
(事務局)山嵯教育次長、松下教育監、橘理事

中山総務部長、江戸学校教育部長、中達生徒指導課長、  
高山教職員人事課参事、松田学校ICT化推進室主幹、青木能力開発課主任指導主事、  
永木教育政策課長、至田教育政策課長補佐、木村教育政策課企画係長

### 案件

- ・令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の堺市の結果について
- ・タスクフォース検討のまとめについて

#### 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の堺市の結果について

毎年、文部科学省から、小学校5年生、中学校2年生の児童生徒に対して、悉皆調査で行っている全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果についての説明。

本市の強みとして、中学校部活動の運動部、文化部の設置数が共に全国平均を上回っていることを説明。

本市の児童生徒の体力分析については、小中学校から選抜した教員で構成する体力推進会議を実施していることや関西大学と連携している体力向上検討会議を行っていることについての説明。

#### (主な意見)

- ・調査項目では1週間の総運動時間という括りになっており、中学校2年生は部活動が体力向上のために貢献しているという趣旨だが、中学生の年代で長時間の運動は良くないので、その着眼点が部活動の取組改善に繋がると考える。
- ・部活動の設置数が運動部、文化部共に平均的に多いということが、教員の過重な負担にならないように検討すべきである。
- ・中学校2年生の子ども達が小学校5年生のときに、どんな体力の状況だったのか比較検証していく方法も必要。
- ・運動部に入っている子どもと、入っていない子どもにデータを分ける必要と、それぞれの課題分析が必要である。

#### タスクフォース検討のまとめについて

令和3年度に、教育委員会事務局の事務職員・指導主事と学校の教職員とで構成されるタスクフォースを設置し、教育に関して識見のある外部有識者にも意見をもらい、「総合的な学力」、「学校マネジメント」、「教育ICT」の3分野について検討してきたことの説明。本タスクフォース検討のまとめは、行政計画という位置付けではなく、各タスクフォースも令和3年度末で終了するが、令和4年度から教育委員会事務局に設置する学校改革推

進室において、「新たな学校のあり方」の制度設計の検討内容として活用するほか、「総合的な学力」、「学校マネジメント」、「教育 ICT」の各分野においても、所管課が活用する予定。

(主な意見)

- ・ 例えば「カリキュラム・マネジメント」のように、国が助成金を出している事業もある。金額自体は大きなものではないかもしれないが、「新たな学校のあり方」の実現に向けての準備期間においても活用できると思うので、そうした外部資源の獲得も積極的に考えていくべきである。そうすることで、類似の改革を考えている他自治体の情報も手に入れやすくなる。
- ・ 教員の指導の質を上げることを研修で行っていくとのことだが、質を上げるということのタスクフォースを立ち上げて良いのではないかと考える。